

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 501 事業名 和歌山大学新駅（仮称）設置促進事業

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	2	公共交通体系の充実
施策	1	公共交通機関の機能強化
取組	1	公共交通機関の充実

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H17	～	H24
事業実施の根拠法令	和歌山大学新駅施設整備補助金交付要綱		
関連個別計画			
担当課・担当課長（Tel）	都市整備課	中西達彦（435-1082）	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		都市計画費	
	目		住宅市街地基盤整備事業費	
	大事業		住宅市街地基盤整備事業費	
事項	和歌山大学新駅（仮称）設置促進事業			
「3つのキーワード」との関連性				
いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず	
		○		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	和歌山市和歌山大学前駅周辺土地地区画整理組合への補助事業				
	事業内容	新駅設置の工事費補助				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		建築工事施工 軌道整備	建築工事施工 軌道整備	建築工事施工 設備工事施行	土木工事施工 設備工事施工 除却 利用促進事業	都市再生整備計画事業の効果 測定・分析

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	517,140	517,014	319,576	272,129	452,289	433,969	41,376	34,229	2,104	
伸び率（%）	-	-	-38.2%		41.5%		-90.9%		-94.9%	
人件費	常勤職員	10,248	12,534	10,248	9,194	9,194	11,232	11,232	8,837	8,837
	非常勤職員									
	小計	10,248	12,534	10,248	9,194	9,194	11,232	11,232	8,837	8,837
国庫支出金	135,372	135,372	84,334	76,603	226,124	216,970	20,518	17,042	800	
県支出金	190,809	190,809	117,591	97,749	113,062	108,485	9,958	8,221		
市債										
その他										
一般財源（税等）	190,959	190,833	117,651	97,777	113,103	108,514	10,900	8,966	1,304	
所要人数	常勤職員	1.34	1.64	1.34	1.2	1.2	1.49	1.49	1.19	1.19
	非常勤職員									
主な予算内訳	公共交通利用促進業務委託料 2,000千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値					
成果指標	和歌山大学新駅（仮称）設置事業の進捗率				59	81	99	100	
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	98.6%	95.9%	99.3%
活動指標					年度目標値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値					
成果指標					年度目標値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成24年4月1日に和歌山大学前駅が開業し、駅の開業に付随した土木工事も平成24年度に終了したため。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	和歌山大学前駅の開業により補助事業は終了を迎えるため、事業内容、コストともに縮小していく。